

令和6年度第1回山形市地域公共交通協議会 会議録

日 時 令和6年5月31日（金） 午前10時10分～午前11時00分
場 所 市庁舎10階 1001会議室
出席者 別紙名簿のとおり
傍聴者 無し

1. 開 会

2. 議 事

●協議事項

(1) 役員の選出方法及び役員の選出について

事務局より会議資料に基づき説明。選出方法は事務局一任となった

⇒事務局で、副会長に東北芸術工科大学の吉田朗様、監事に山形市自治推進委員長連絡協議会の宮舘照彦様及び山形商工会議所の後藤新也様を推薦。

質問及び異議はなく、事務局案が承認された。

(2) 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

事務局より会議資料に基づき説明。

⇒ 質問及び異議はなく、事業計画（案）、収支予算（案）ともに承認された。

(3) 山形市地域公共交通計画に基づく主な取組内容について

事務局より会議資料に基づき説明。

⇒ 下記の意見及び質疑があった。その後、取組内容について承認された。

【主な意見等】

委員A 山形市ではバス、タクシーともに利用者が少ない。高齢者のための福祉タクシー事業や、タクシーの補助を行う事業等を継続的に行うことで、利用者とタクシー事業者双方にとって利益となるのではないか。

事務局 福祉部門と協議しながら調整を行っていききたい。

委員B 免許返納すると2万円分のタクシー補助がもらえるが、1度きりの補助となっている。毎年補助を行っている自治体もあるようなので、他市の情報も取り入れながら継続的な補助を検討いただきたい。

事務局 他市の好事例等を情報収集しながら、山形市の施策に活かしていきたい。

委員A 蔵王地区ではタクシーの相乗り事業を行っている。蔵王地区だけでなく、市全体で取り入れることで不公平感もなくなり良いのではないか。

事務局 挙げいただいた取組は、長寿支援課のモデル事業として蔵王地区山田町内会で行っている取組と思われる。今後の横展開を見据え、モデル事業として実施している状況。

委員C 金井地区モデル事業のAI マッチングシステムについて、IT のスキルが求められるが、高齢者にとって使いやすいものなのか。また、料金設定について、相乗りだと割り勘となるのか。

事務局 AI マッチングシステムはLINEで必要項目を入力することで、当事業で利用できるタクシー会社すべてに連絡が行くようなシステムとなっている。そのため混雑する時間帯など予約を断られた場合も、タクシー会社に何件も連絡するという手間が省けるメリットがある。また、予約情報が蓄積されるため、システムがマッチングを行い相乗りが促進され、市の経済的負担が軽減されるメリットもある。

料金設定についてAIシステム導入以前から、相乗りの場合は利用者同士で割り勘し、タクシー1台500円という対応を行っていた。ただし今後横展開をする場合には、相乗りした場合でも1人500円とすることで、持続可能なサービスの展開を行っていければと考えている。

3. 閉 会

令和6年度第1回山形市地域公共交通協議会 出席者名簿

(敬称略)

所属	職名	氏名	規約上の構成員区分	備考
山形市企画調整部	部長	伊藤 哲雄	山形市長又はその指名する者	
東北芸術工科大学	教授	吉田 朗	学識経験者	
東日本旅客鉄道株式会社東北本部	企画総務部 経営戦略ユニット企画課長	箸方 稔	区域内の公共交通事業者	
山交バス株式会社	取締役営業部長	後藤 利樹	〃	
山形地区ハイヤー協議会	会長	石川 康夫	〃	
山形市自治推進委員長連絡協議会	会長	宮舘 照彦	利用者代表	
山形商工会議所	地域振興課長	後藤 新也	〃	
国土交通省東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官	角張 英恵	区域内の地方運輸局	代理出席
山形県村山総合支庁総務課連携支援室	室長	菅野 光昭	都道府県	
国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所	調査課長	杉山 義浩	区域内の道路管理者	
山形県村山総合支庁建設部道路課	道路管理専門官	後藤 正孝	〃	代理出席
山形市都市整備部道路維持課	課長補佐	金子 健二	〃	代理出席
山形警察署	交通第一課長	押切 貴大	区域内の警察署	
山形県交通運輸産業労働組合協議会	欠席		一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	

山形市企画調整部公共交通課	課長補佐	布施 浩治	事務局
	課長補佐(兼) 交通結節点係長	関 長英	
	地域交通戦略係長(兼) 仙山連携推進担当室主幹 (連携推進担当)	柏田 康太	
	交通ネットワーク係長	小玉 正樹	
	主査	大場 千華	
	主任	大澤 茉歩	
	主事	須藤 晶也	